

様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画作成（変更）報告書（義務・任意）

平成22年 6月24日

（あて先）

埼玉県知事

提出者

埼玉県東松山市松本町2-1-1

伊田テクノス株式会社

代表取締役 伊田登喜三郎

（個人事業者にあつては、住所及び氏名（自署又は記名押印））

電話番号 0493-22-1170



平成 22 年度の地球温暖化対策計画を作成（変更）したので、埼玉県地球温暖化対策推進条例 ~~第12条第1項前段（後段）~~ 第13条第1項（第2項）の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	0 6
燃 料 等 使 用 量	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量		61 kℓ/年
	(大規模小売店舗の場合は、店舗面積		2,095 m ²)
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第8号該当		
連 絡 先	所 属 部 署	建設本部工務部工務課	
	職 ・ 氏 名	専門課長 池上茂	
	電 話 番 号	0493-22-1172	
※ 受 理 年 月 日	年 月 日	※整理番号	
※備 考			

- 注
- 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。
 - 2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
 - 3 ※印の欄には、記載しないこと。



平成22年 6月24日

（あて先）

埼玉県知事

届出者

埼玉県東松山市松本町2-1-1

伊田テクノス株式会社

代表取締役 伊田登喜三郎

印

（個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印））

電話番号 0493-22-1170

地球温暖化対策推進者を選任・解任したので、埼玉県地球温暖化対策推進条例第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

	所 属 部 署 職 名	氏 名	電 話 番 号	選 任 ・ 解 任 年 月 日
選 任	取締役建設本部本部長	小川 詔夫	0493-22-1172	2010/4/1
解 任				



平成 22 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	
IV類	特定種別には I、II、III、IV類を入力 I類 1500 kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500 kL以上となる特定事業者 II類 1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 III類 3年連続して1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 IV類 (任意) 1500 kL未満の事業所のみを有し、合算して1500 kL未満となる事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	伊田テクノス株式会社
所在地	埼玉県東松山市松本町2-1-1
事業者番号	※初回提出時に県で付与
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	61
店舗面積 (該当する場合)	2,095 m ²
産業分類名 (中分類)	総合工事業
分類番号 (中分類)	06
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	事業内容：土木構造物、建築物及び戸建住宅の地盤補強の設計・施工 従業員数：148名 資本金：1億円
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	

(3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
取締役建設本部	0493-22-1172

（４）県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 ※初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
1500 kL未満の事業所の合算		
		61
合計		61

（５）公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.idatechnos.co.jp/	
<input checked="" type="checkbox"/> 埼玉県内の事業者又は事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社 1 階ロビー	
	所在地 1	東松山市松本町2-1-1	
	閲覧可能時間 1	8 : 30 ~ 17 : 30 (休業日を除く)	
	閲覧場所 2		
	所在地 2		
	閲覧可能時間 2		
<input type="checkbox"/> その他			

（６）公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	F A X 番号	E-mailアドレス
1 建設本部工務部工務課	0493-22-1172	0493-24-8253	ikegami@idatechnos.co.jp
2			
3			

2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

伊田テクノスは、企業理念であるグループ憲章の中で“快適な環境づくりを通じて豊かな地域社会の発展に貢献”する事を誓っています。私たちは、比企丘陵を中心に緑豊かな埼玉の大地を事業活動の場として、良質な社会資本の形成、快適で豊かな地域社会づくりに取り組んでいます。しかし、その事業活動の過程では、常に自然環境や生態系と直接的に関わり合っています。私たちを育ててくれた豊かな自然、オオムラサキの舞う森、ミヤコタナゴの泳ぐ川、ポタンの咲く丘、そんな自然を子孫に受け継ぐこと、安心して安全な暮らしの環境づくりと自然環境・生態系の調和、私たち伊田テクノスは、そんな役割を担っていくことを使命と考え、次の方針を定め、実行します。

1. 環境保全活動の継続的な推進のため、全員参加の環境マネジメントシステムを構築し、運用・維持する。
2. 施工計画段階より環境への影響を配慮し、環境汚染の防止・建設副産物の発生抑制・リサイクル推進等、環境への負荷の低減に努める。
3. 電気エネルギーや化石燃料などの節約によるCO₂発生量の抑制に努めると共に、働きやすい職場環境の実現に努める。
4. 各部門毎に、環境目的及び環境目標を設定して、運用・監視及びレビューを行い、継続的な改善に努める。
5. 適用可能な法的要求事項等を順守する。
6. 社員及び取引業者の社員に本環境方針や環境マネジメントシステムの重要性などを教育し、その周知徹底を図る。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

別添「伊田テクノス推進体制」参照

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂					
その他温室効果ガス					

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

ア 都市ガスの圧力及び標準状態換算

			換算前								
			単位	H14(2002)	H15(2003)	H16(2004)	H17(2005)	H18(2006)	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)
都市ガス	13A:45MJ/m3	低圧用	m3								
		中間圧以上用	m3								
	13A:43.12MJ/m3	低圧用	m3								
		中間圧以上用	m3								
	13A:46.04MJ/m3	低圧用	m3								
		中間圧以上用	m3								
	12A:41.86MJ/m3	低圧用	m3								
		中間圧以上用	m3								
	6A:29.30MJ/m3	低圧用	m3								
		中間圧以上用	m3								

イ 液化石油ガス(LPG)

			換算前							
	気化率 m ³ /kg	単位	H14(2002)	H15(2003)	H16(2004)	H17(2005)	H18(2006)	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)
プロパン・ブタン混合ガス (LPガス)	0.458	m3								
プロパン	0.502	kg	91	93	93	95	87	86	94	63
ブタン	0.355	m3								
その他	0.482	m3								

ウ 都市ガス・LPG以外の気体燃料

				換算前							
	気体燃料圧力 [kPa]	気体燃料温度 [°C]	単位	H14(2002)	H15(2003)	H16(2004)	H17(2005)	H18(2006)	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)
その他可燃性 天然ガス			m3								
コークス炉ガス			m3								
高炉ガス			m3								
転炉ガス			m3								

活動の領域	区分	単位	数値	数値の算定方法	使用量												排出係数				
					年度																
					H14(2012)	H15(2013)	H16(2014)	H17(2015)	H18(2016)	H19(2017)	H20(2018)	H21(2019)	H22(2020)	H23(2021)	H24(2022)	H25(2023)					
非エネルギー起源CO ₂ 、その他温室効果ガス	廃油（可燃性のもの及び補助性のものを除く）	t																0	2.92	t-CO ₂ /t	
	合成繊維	t																	0	2.29	t-CO ₂ /t
	廃ゴム、タイヤ	t																	0	1.77	t-CO ₂ /t
	合成繊維及び廃タイヤ以外の廃プラスチック類	t																	0	2.55	t-CO ₂ /t
	その他の廃プラスチック類	t																	0	2.69	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RPF）	t																	0	1.57	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RDF）	t																	0	0.799	t-CO ₂ /t
	廃油（可燃性のもの及び補助性のものを除く）	kL																	0	2.63	t-CO ₂ /t
	廃プラスチック類（廃プラスチック類を除く）	kL																	0	2.62	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RPF）	t																	0	1.57	t-CO ₂ /t
ごみ固形燃料（RDF）	t																	0	0.799	t-CO ₂ /t	
セメント	t																	0	0.51	t-CO ₂ /t	
生石灰の製造	t																	0	0.428	t-CO ₂ /t	
ドロマイト	t																	0	0.449	t-CO ₂ /t	
石炭	t																	0	0.44	t-CO ₂ /t	
ドロマイト	t																	0	0.471	t-CO ₂ /t	
ソーダ灰の製造	t																	0	1	t-CO ₂ /t	
ソーダ灰の使用	t																	0	0.415	t-CO ₂ /t	
石炭（一般・輸入）	t																	0	2.4	t-CO ₂ /t	
ナフサ	kL																	0	2.3	t-CO ₂ /t	
オイル	t																	0	3.3	t-CO ₂ /t	
液化石油ガス（LPG）	t																	0	3	t-CO ₂ /t	
液化天然ガス（LNG）	t																	0	2.7	t-CO ₂ /t	
アンモニアの製造	t																	0	2.1	t-CO ₂ /t	
天然ガス（LNGを除く）	千Nm ³																	0	0.85	t-CO ₂ /Nm ³	
コールガス	千Nm ³																	0	2.3	t-CO ₂ /Nm ³	
石油系液化水素ガス	千Nm ³																	0	2.3	t-CO ₂ /Nm ³	
シリコンカーバイドの製造	t																	0	0.76	t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドの製造	t																	0	1.1	t-CO ₂ /t	
エサレンの製造	t																	0	0.028	t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドを原料としたセレンの使用	t																	0	3.4	t-CO ₂ /t	
電気を原料とした粗鋼の製造	t																	0	0.005	t-CO ₂ /t	
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t																	0	1	t-CO ₂ /t	
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t																	0	1	t-CO ₂ /t	
																		0	1	t-CO ₂ /t	
																		0	1	t-CO ₂ /t	
メタン	t-CH ₄																	0	21	t-CO ₂ /t-SF ₆	
二酸化二窒素	t-N ₂ O																	0	310	t-CO ₂ /t-SF ₆	
ハイドロフルオロカーボン	t																	0	1	t-CO ₂ /t-SF ₆	
パーフルオロカーボン	t																	0	1	t-CO ₂ /t-SF ₆	
	t																	0	1	t-CO ₂ /t-SF ₆	
	t																	0	1	t-CO ₂ /t-SF ₆	
六フッ化硫黄	t-SF ₆																	0	23900	t-CO ₂ /t-SF ₆	

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)	kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ				
	揮発油 (ガソリン)	kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ				
	ナフサ	kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ				
	灯油	kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ				
	軽油	kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ				
	A重油	kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ				
	B・C重油	kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ				
	石油アスファルト	t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ				
	石油コークス	t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	50.8		GJ/t		0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	54.6		GJ/t		0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス	千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭	t	29		GJ/t		0.0245	t-C/GJ			
		一般炭	t	25.7		GJ/t		0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭	t	26.9		GJ/t		0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス	t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ				
	コールタール	t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ				
	コークス炉ガス	千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ				
	高炉ガス	千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ				
	転炉ガス	千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ				
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³		45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
産業用蒸気	GJ	1.02	GJ/GJ		0.0600	t-CO ₂ /GJ						
産業用以外の蒸気	GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ						
温水	GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ						
冷水	GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ						
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	317	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,160	0.0258	82	0.386	t-CO ₂ /千kWh	122
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					3,160			82			122
外部供給	自ら生成した熱の供給	GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ				
	自ら生成した電力の供給	千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh				
	小計											
合計					3,160	0.0258	82			122		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.0187	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.0184	t-C/GJ				
	揮発油 (ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.0183	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.0182	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.0185	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.0189	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.0208	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.0254	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t	50.8		GJ/t	0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t	54.6		GJ/t	0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.0245	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.0294	t-C/GJ				
	コールターール		t	37.3	GJ/t		0.0209	t-C/GJ				
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ				
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.0266	t-C/GJ				
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.0384	t-C/GJ				
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ					
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0600	t-CO ₂ /GJ						
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
温水		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	302	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,011	0.0258	78	0.386	t-CO ₂ /千kWh	117
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					3,011			78			117
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh						0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
合計					3,011	0.0258	78				117	

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ			
	揮発油 (ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ			
	コールターール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ			
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ			
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ			
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ		
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ			
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ			
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ			
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ			
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ				
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ				
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	333	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,320	0.0258	86	0.386	t-CO ₂ /千kWh	129
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					3,320			86			129
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh						0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
合計					3,320	0.0258	86				129	

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.0184	t-C/GJ				
	揮発油 (ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.0183	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.0182	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.0185	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.0189	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.0208	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.0254	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.0294	t-C/GJ				
	コールターール		t	37.3	GJ/t		0.0209	t-C/GJ				
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ				
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.0266	t-C/GJ				
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.0384	t-C/GJ				
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ			
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0600	t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	305	千kWh	9.97	GJ/千kWh	3,041	0.0258	78	0.386	t-CO ₂ /千kWh	118
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					3,041			78		118	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh						0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
合計					3,041	0.0258	78			118		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量			
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12				
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂			
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ		
	揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ		
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ		
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ		
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ		
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ		
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ		
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ		
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8	GJ/t			0.0161	t-C/GJ	
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³			0.0142	t-C/GJ	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ	
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³			0.0139	t-C/GJ	
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ	
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ	
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ	
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ		
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ		
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ		
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ		
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ		
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ	
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ		
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ		
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ		
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³			0.0136	t-C/GJ		
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.0600	t-CO ₂ /GJ			
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ			
温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ			
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.0570	t-CO ₂ /GJ			
小計											
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	275	千kWh	9.97	GJ/千kWh	2,742	71	0.386	t-CO ₂ /千kWh	106
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					2,742		71		106	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計										
合計					2,742	0.0258	71		106		

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.0187	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.0184	t-C/GJ				
	揮発油 (ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.0183	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.0182	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.0185	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.0189	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.0208	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.0254	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t	50.8		GJ/t	0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³	0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t	54.6		GJ/t	0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³	0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.0245	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.0294	t-C/GJ				
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.0209	t-C/GJ				
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ				
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.0266	t-C/GJ				
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.0384	t-C/GJ				
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
			12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86		GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ			
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³	0.0136	t-C/GJ					
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0600	t-CO ₂ /GJ						
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
温水		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ	0.0570	t-CO ₂ /GJ						
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	275	千kWh	9.97	GJ/千kWh	2,742	0.0258	71	0.386	t-CO ₂ /千kWh	106
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					2,742			71			106
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh						0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
合計					2,742	0.0258	71				106	

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油（コンデンセートを除く）		kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ			
	揮発油（ガソリン）		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）		t	50.8		GJ/t		0.0161	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス（LNG）		t	54.6		GJ/t		0.0135	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.0245	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.0247	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.0255	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.011	t-C/GJ			
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³			0.0266	t-C/GJ			
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³			0.0384	t-C/GJ			
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45		GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
13A:43.12MJ/m ³			千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
13A:46.04MJ/m ³			千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
12A:41.86MJ/m ³			千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0600	t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
小計												
電気	一般電気事業者	昼間（8時～22時）	257	千kWh	9.97	GJ/千kWh	2,562	0.0258	66	0.386	t-CO ₂ /千kWh	99
		夜間（22時～翌8時）		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					2,562			66		99	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					0.000	t-CO ₂ /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh					0.000	t-CO ₂ /千kWh			
	小計											
合計					2,562	0.0258	66		99			

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂				
燃料及び熱 エネルギー起源CO ₂	原油 (コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.0184	t-C/GJ				
	揮発油 (ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.0183	t-C/GJ				
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.0182	t-C/GJ				
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.0185	t-C/GJ				
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.0187	t-C/GJ				
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.0189	t-C/GJ				
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.0195	t-C/GJ				
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.0208	t-C/GJ				
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.0254	t-C/GJ				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t		0.0161	t-C/GJ			
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9	GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t	54.6	GJ/t		0.0135	t-C/GJ			
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5	GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ			
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t		0.0245	t-C/GJ			
		一般炭		t	25.7	GJ/t		0.0247	t-C/GJ			
		無煙炭		t	26.9	GJ/t		0.0255	t-C/GJ			
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.0294	t-C/GJ				
	コールターール		t	37.3	GJ/t		0.0209	t-C/GJ				
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³		0.011	t-C/GJ				
	高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.0266	t-C/GJ				
	転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.0384	t-C/GJ				
	その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ			
			13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ			
			13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ			
			12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ			
6A:29.30MJ/m ³			千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ				
産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ		0.0600	t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.0570	t-CO ₂ /GJ					
小計												
電気	一般電気事業者	昼間 (8時~22時)	239	千kWh	9.97	GJ/千kWh	2,383	0.0258	61	0.386	t-CO ₂ /千kWh	92
		夜間 (22時~翌8時)		千kWh	9.28	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh				0.386	t-CO ₂ /千kWh		
	小計					2,383			61		92	
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						0.000	t-CO ₂ /GJ		
	自ら生成した電力の供給		千kWh						0.000	t-CO ₂ /千kWh		
	小計											
合計					2,383	0.0258	61			92		

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
小計					
合計					

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性を除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）		千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³		
コークス炉ガス		千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³		
石油系炭化水素ガス		千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³		
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
	小計				
	合計				

	種類	使用量		排出係数	二酸化炭素排出量
		①		②	③=①×②
		数値	単位		t-CO ₂
非エネルギー起源CO ₂	廃棄物の焼却及び製品の製造の用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t	2.92 t-CO ₂ /t	
		合成繊維	t	2.29 t-CO ₂ /t	
		廃ゴムタイヤ	t	1.77 t-CO ₂ /t	
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t	2.55 t-CO ₂ /t	
		その他の廃プラスチック類	t	2.69 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料	kL	2.63 t-CO ₂ /kL	
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL	2.62 t-CO ₂ /kL	
		ごみ固形燃料（RPF）	t	1.57 t-CO ₂ /t	
		ごみ固形燃料（RDF）	t	0.76 t-CO ₂ /t	
	セメント製造		t	0.51 t-CO ₂ /t	
	生石灰の製造	石灰	t	0.43 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.45 t-CO ₂ /t	
	ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰	t	0.44 t-CO ₂ /t	
		ドロマイト	t	0.47 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の製造		t	1.00 t-CO ₂ /t	
	ソーダ灰の使用		t	0.42 t-CO ₂ /t	
	アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t	2.40 t-CO ₂ /t	
		ナフサ	kL	2.30 t-CO ₂ /kL	
		石油コークス	t	3.30 t-CO ₂ /t	
		液化石油ガス（LPG）	t	3.00 t-CO ₂ /t	
		液化天然ガス（LNG）	t	2.70 t-CO ₂ /t	
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³	2.10 t-CO ₂ /千Nm ³	
		コークス炉ガス	千Nm ³	0.85 t-CO ₂ /千Nm ³	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³	2.30 t-CO ₂ /千Nm ³	
	シリコンカーバイドの製造		t	2.30 t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t	0.76 t-CO ₂ /t		
	生石灰の還元	t	1.10 t-CO ₂ /t		
エチレンの製造		t	0.03 t-CO ₂ /t		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用		t	3.40 t-CO ₂ /t		
電気炉を使用した粗鋼の製造		t	0.01 t-CO ₂ /t		
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量		t	1 t-CO ₂ /t		
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量		t	1 t-CO ₂ /t		
小計					
その他温室効果ガス		数値	単位	地球温暖化係数	
	メタン		t-CH ₄	21 t-CO ₂ /t-CH ₄	
	一酸化二窒素		t-N ₂ O	310 t-CO ₂ /t-N ₂ O	
	ハイドロフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	パーフルオロカーボン		t-	t-CO ₂ /t-	
			t-	t-CO ₂ /t-	
	六フッ化硫黄		t-SF ₆	23,900 t-CO ₂ /t-SF ₆	
小計					
合計					

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明効率の良い照明（Hf）を優先的に利用している	H10年頃	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	定期的に照明を清掃している	H10年頃	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	業務に支障のない範囲で通路等の蛍光灯を少なくした	H21年度	
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	人感センサーや自動点滅器による点滅方式を導入している	H10年頃	
5	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	省エネ型自動販売機を導入している	H21年度	
6	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	自動販売機の照明を常時消している	H14年頃	
7	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エレベーターの社員利用は極力避け、掲示して階段利用を促進している	H14年頃	
8	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	夏季には、建物南側にグリーンカーテンを設置している	H21年度	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(1) 温室効果ガスの推移

		CO ₂ 換算 (t-CO ₂)									
基準年	※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		
※2											
燃料等使用量の原油換算量 (kL)		82	78	86	78	71	71	66	61		
エネルギー起源 CO ₂		122	117	129	118	106	106	99	92		
非エネルギー起源 CO ₂		0	0	0	0	0	0	0	0		
その他温室効果ガス											
メタン		0	0	0	0	0	0	0	0		
一酸化二窒素		0	0	0	0	0	0	0	0		
ハイドロフルオロカーボン		0	0	0	0	0	0	0	0		
パーフルオロカーボン		0	0	0	0	0	0	0	0		
六フッ化硫黄		0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		122	117	129	118	106	106	99	92		

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

(2) 原単位

		CO ₂ 換算 (t-CO ₂ /〇〇)									
基準年	※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		
※2											
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		0.668644809	0.677744186	0.730329545	0.696627219	0.628106509	0.647256098	0.6200125	0.623337838		
活動規模の指標											
○ 生産量											
○ 出荷額											
● 従業員数		183	172	176	169	169	164	160	148		
○ 床面積											
○ (※自由記載)											

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

(1) 電気使用量

①空調機器

- ・エアコン設定温度は、冷房28℃以上暖房20℃以下とし、風量は弱とした。
- ・エアコン使用時間を8時15分～20時とした。
- ・夏季・冬季には、クールビズ（ネクタイ・上着なし）・ウォームビズ（重ね着・膝掛け等を用いた）を励行し適温確保を図った。
- ・エコアイス（氷蓄熱式空調システム）を使用し、昼間の冷暖房に役立てた。
- ・壁面緑化を設置した。

②照明

- ・休憩時間などの不要時の消灯を行った。
- ・省エネ型の蛍光灯を使用した。
- ・灯具の清掃、古いランプの交換を行った。
- ・通路部等の蛍光灯を支障のない範囲で少なくした。

③各フロアの最終退出者は点検表によりチェックした。

④自動販売機

- ・照明を常時消した。
- ・省エネタイプを導入した。

⑤OA機器

- ・離席、終業時に電源を切った。

⑥エレベーター

- ・社員利用は極力さけた。
- ・掲示して階段利用を促進した。
- ・エレベーターかご内の照明、ファンは未使用時はOFFとした。

⑦貼紙をして協力を呼びかけた。

⑧毎週水曜日をノー残業デーとした。

⑩午後9時以降の残業は極力なくした。

(2) ガス使用量（湯沸し器）

①4月1日～10月31日は元栓を締め使用不可とした。

②湯沸し器の能力切替は小とし、湯温設定も2メモリとして、掲示し周知した。

③各フロアの最終退出者は点検表によりチェックした。